

令和5年度学校評価報告書

令和6年3月22日

北海道教育委員会教育長 様

北海道苫小牧総合経済高等学校長 池田 隆 印

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

1 学習意欲とコミュニケーション力を高める教育活動の推進
2 課題解決に向けた職員間での対話の充実、生徒との信頼関係の構築

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の基礎・基本を明確化し、目標に応じた指導が行われた。 習得した知識等はシラバスで示した目標に照らし十分であり、生徒の内発的動機付けに工夫を凝らした授業と学習評価となるよう取組んだ。 積極的に授業においてICTを活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の特色を生かした学習活動が行われている。 引き続き、地域の教育力を活かしていただきたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 更に生徒の内発的動機付けに工夫を凝らした授業と学習評価となるよう校内研修の機会を設け、研鑽を図る。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導内容を共有し、保護者や関係機関等と連携しながら差のない指導に取り組んだ。 未然防止、早期発見に向け、生徒情報の把握、提供、共有に取り組んだ。 授業をはじめ、特別活動や部活動等とおして、積極的に生徒に声掛けに取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の不安やできないところについて、改善してほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の共通理解、共通実践による全職員が統一した指導方針に基づいた生徒指導の充実を図る。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 生涯に渡って学ぶ意欲や働く意味について理解を深める教育活動の実践に取り組んだ。 各種検査の活用や講演会、面談等を通して適性を見極め、効果的な指導に取り組んだ。 進路指導部、家庭や関係団体等との連携を深めながら組織的な進路指導を実現することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動が生徒の表情に表れている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 進路シラバスに基づき、進路指導部と学年との連携を密にし、3年間を見据えた系統立てたキャリア教育の推進を図る。 進路指導部、家庭や関係団体等との連携を深めながら組織的な進路指導の充実を図る。 	
健康安全教	<ul style="list-style-type: none"> 生命尊重や健康・安全に対する習慣と態度を高めさせる指導に取り組んだ。 教育相談体制の充実を図りながら、健康意識を高めさせる指導に取り組んだ。 講演、訓練、特別活動等を通して、意識を高める指導に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に取り組んでいる。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 相談室の整備を進めるとともに、日常的な相談体制の充実を図る。 	
信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 共通理解のもと、目標達成に向けた教育活動を実践した。 学校ウェブや通信等を活用し、苦総経のファン増加に繋がる情報発信に取り組んだ。 評価から授業や業務等の改善に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域人材を活用した教育活動が行われている。 学校の情報発信について、引き続き進めてほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習内容や活動等の積極的な情報の発信の強化を図る。 	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 経営方針等を理解し、課題解決に向け職員間での対話の質と量の両方を高めることができた。 ICT活用によるペーパーレス化やデータの情報共有等、電子情報の管理を徹底に取り組んだ。 各種規程等の見直しを継続して推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> 個性を活かしながら対話を重視して取り組んでほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 経営方針等を踏まえ、課題解決に向け職員間での対話の質と量の両方を高めることができるよう校内研修等の充実を図る。 各種規程等の積極的な見直しを推進する。 	
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 職務規律、危機管理を意識し校務に当たった。 学校職員評価制度を有効活用し、自己目標の達成に結び付けた。 教職としての知識技能を求め、実践を積み重ねながら教育活動の充実に生かした。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害等への、危機管理意識の向上が求められる。 学校への信頼は学習面だけでなく、人格形成に対する期待も大きいことを意識してほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時の対応について、マニュアルの再確認、校内研修による知識技術の習得を図る。 次年度に向けて、更なる北海道アクションプランに沿った取組の推進を図る。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> 学校Webページでの公表を予定 ・PTA会議等での公表を予定 	

3 添付書類

・令和5年度 自己評価書・学校関係者評価書、生徒・保護者アンケート